

「科学技術と社会に関する世論調査」の概要

平成 29 年 11 月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国の日本国籍を有する 18 歳以上の者 3,000 人
有効回収数 1,765 人 (回収率 58.8%)
- 調査期間 平成 29 年 9 月 14 日 ~ 9 月 24 日 (調査員による個別面接聴取)
- 調査目的 科学技術と社会に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 科学技術に関する関心
 - 2 科学技術に対する意識
 - 3 科学技術の貢献を期待する分野
 - 4 科学技術の発展のために必要な政策
 - 5 女性科学者の進出に向けた国民の意識
- 調査実績 「科学技術と社会に関する世論調査」
- ・昭和 62 年 3 月、平成 2 年 1 月、7 年 2 月、16 年 2 月 (3,000 人、18 歳以上)
 - ・平成 19 年 12 月、22 年 1 月、(3,000 人、20 歳以上)
- 「科学技術に関する世論調査」 昭和 56 年 12 月 (3,000 人、15 歳以上)
- 「将来の科学技術に関する世論調査」 平成 10 年 10 月 (3,000 人、18 歳以上)

(平成 18 年度の調査から、調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。)

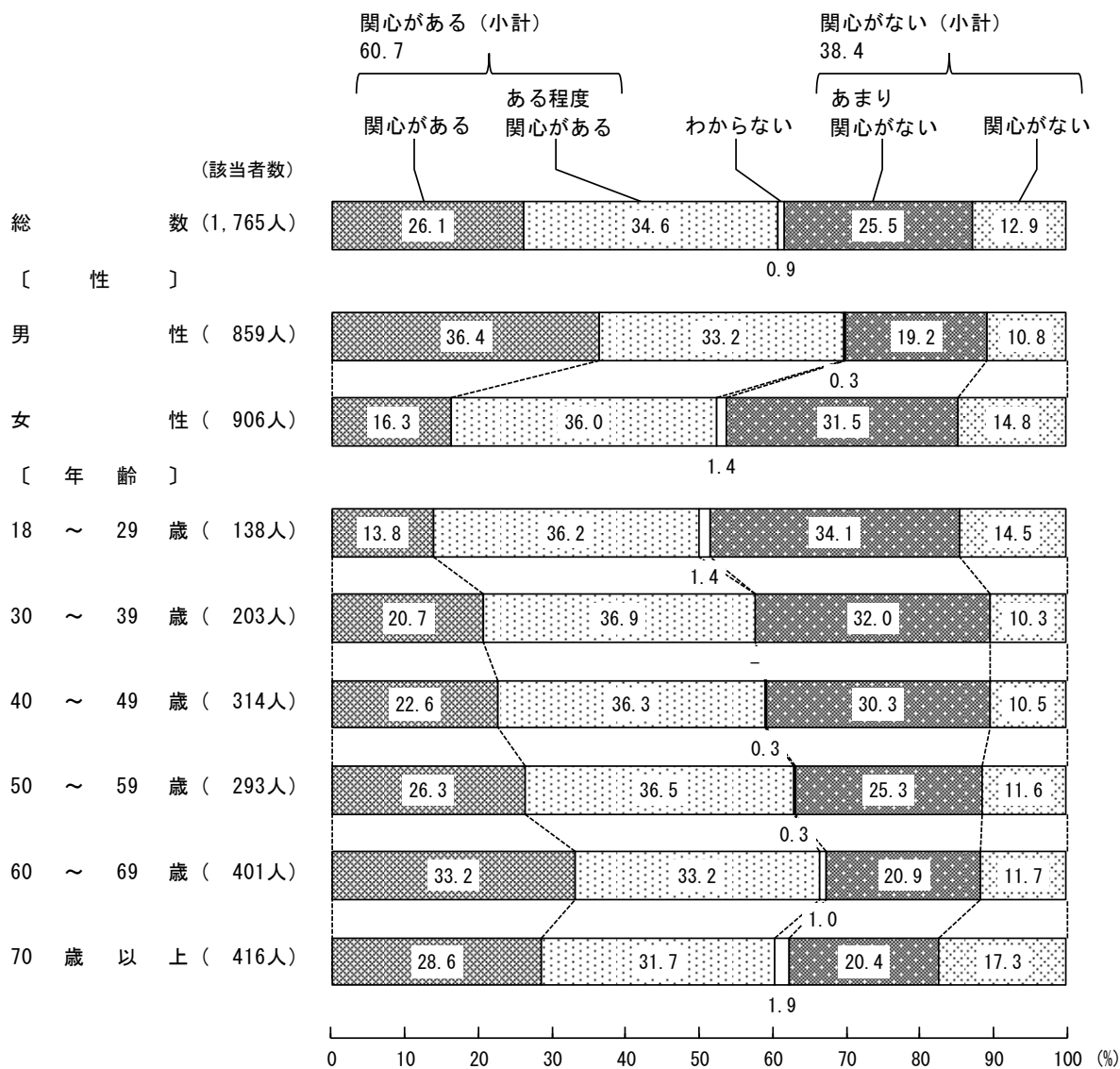
その他 平成 28 年度から調査対象者の年齢を 18 歳以上に引き下げているため、20 歳以上を対象としていた前回調査までとの単純な比較には注意を要する。

1 科学技術に関する関心
 (1) 科学技術に関する関心

問1 あなたは、科学技術についてのニュースや話題に関心がありますか。この中から1つだけお答えください。

平成 29 年 9 月 (参考)平成 22 年 1 月

関心がある (小計)	60.7%	63.0%
・ 関心がある	26.1%	24.7%
・ ある程度関心がある	34.6%	38.3%
関心がない (小計)	38.4%	35.6%
・ あまり関心がない	25.5%	23.9%
・ 関心がない	12.9%	11.8%

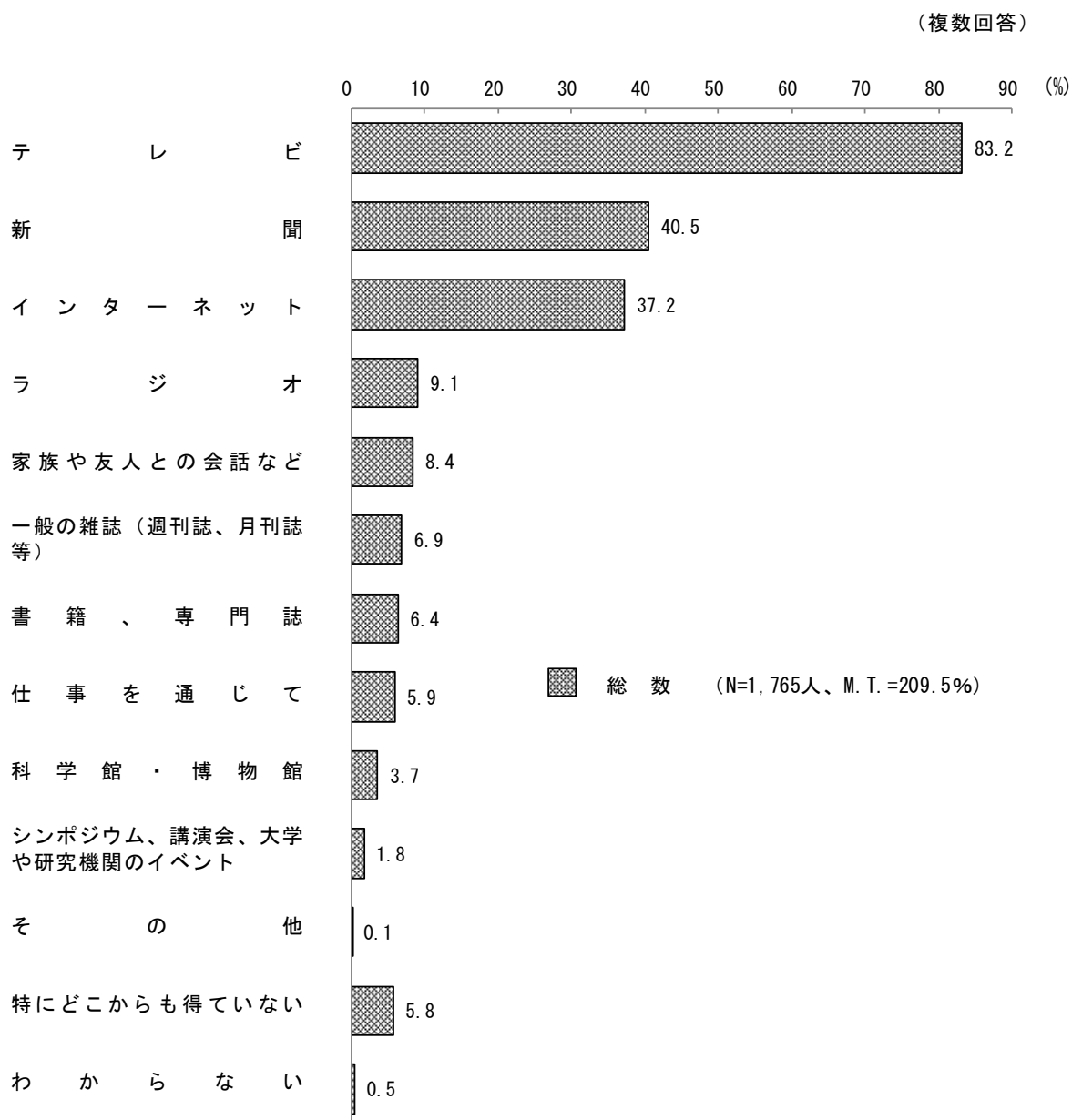


(2) 科学技術に関する情報の入手経路

問2 あなたは、ふだん科学技術に関する情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
・テレビ	83.2%	87.1%
・新聞	40.5%	58.8% ※
・インターネット	37.2%	21.8%

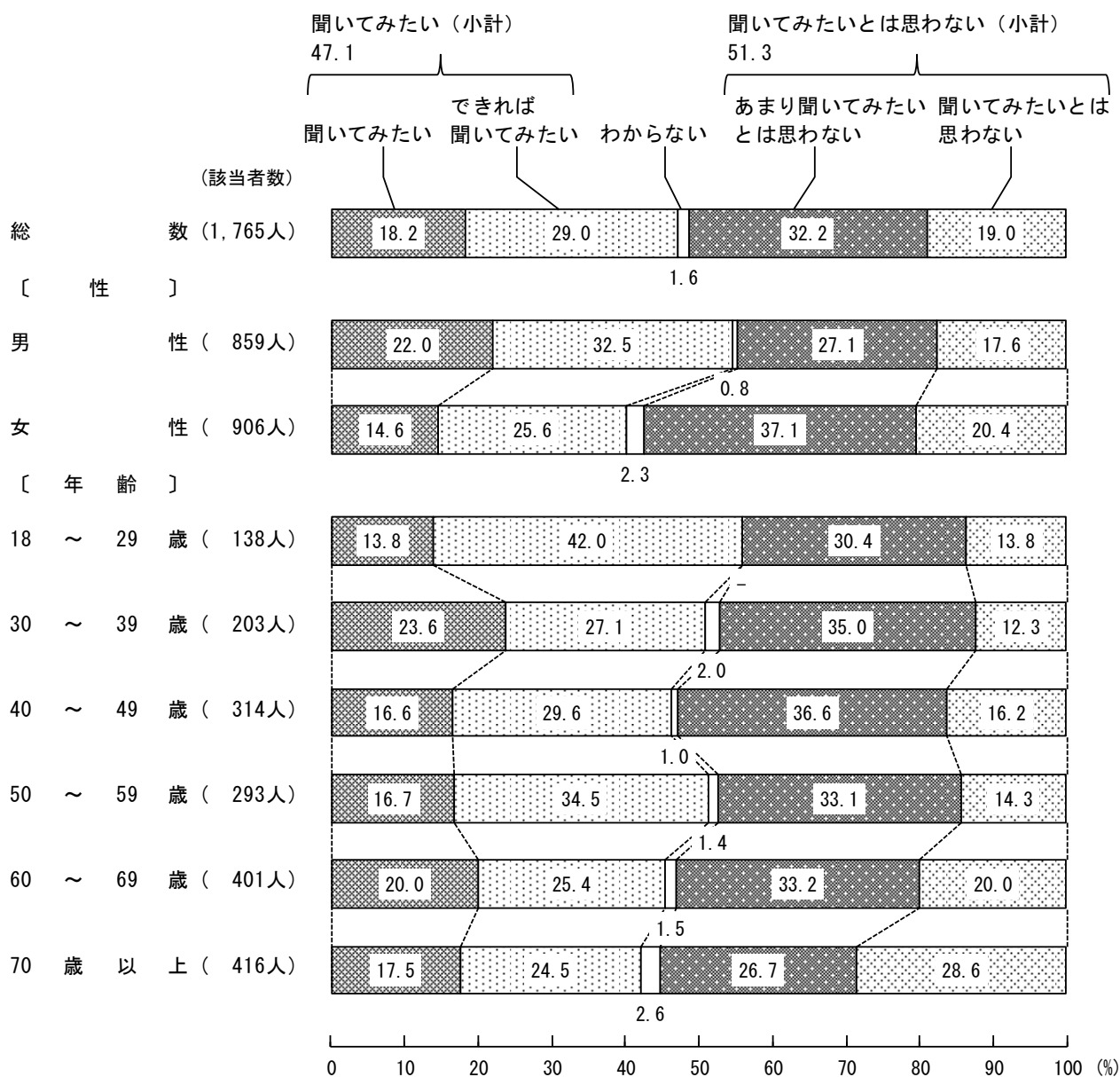
※平成 22 年 1 月調査では、「新聞、雑誌」となっている。



(3) 科学者や技術者の話への関心

問3 あなたは、機会があれば、科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
<u>聞いてみたい (小計)</u>	47.1%	61.8%
・聞いてみたい	18.2%	26.8%
・できれば聞いてみたい	29.0%	35.0%
<u>聞いてみたいとは思わない (小計)</u>	51.3%	37.3%
・あまり聞いてみたいとは思わない	32.2%	24.2%
・聞いてみたいとは思わない	19.0%	13.1%



(4) 科学者や技術者の話への信頼

問4 あなたは、科学者や技術者の話は信頼できると思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成 29 年 9 月

信頼できる (小計)

- ・信頼できる
- ・どちらかという信頼できる

78.6%

23.3%

55.2%

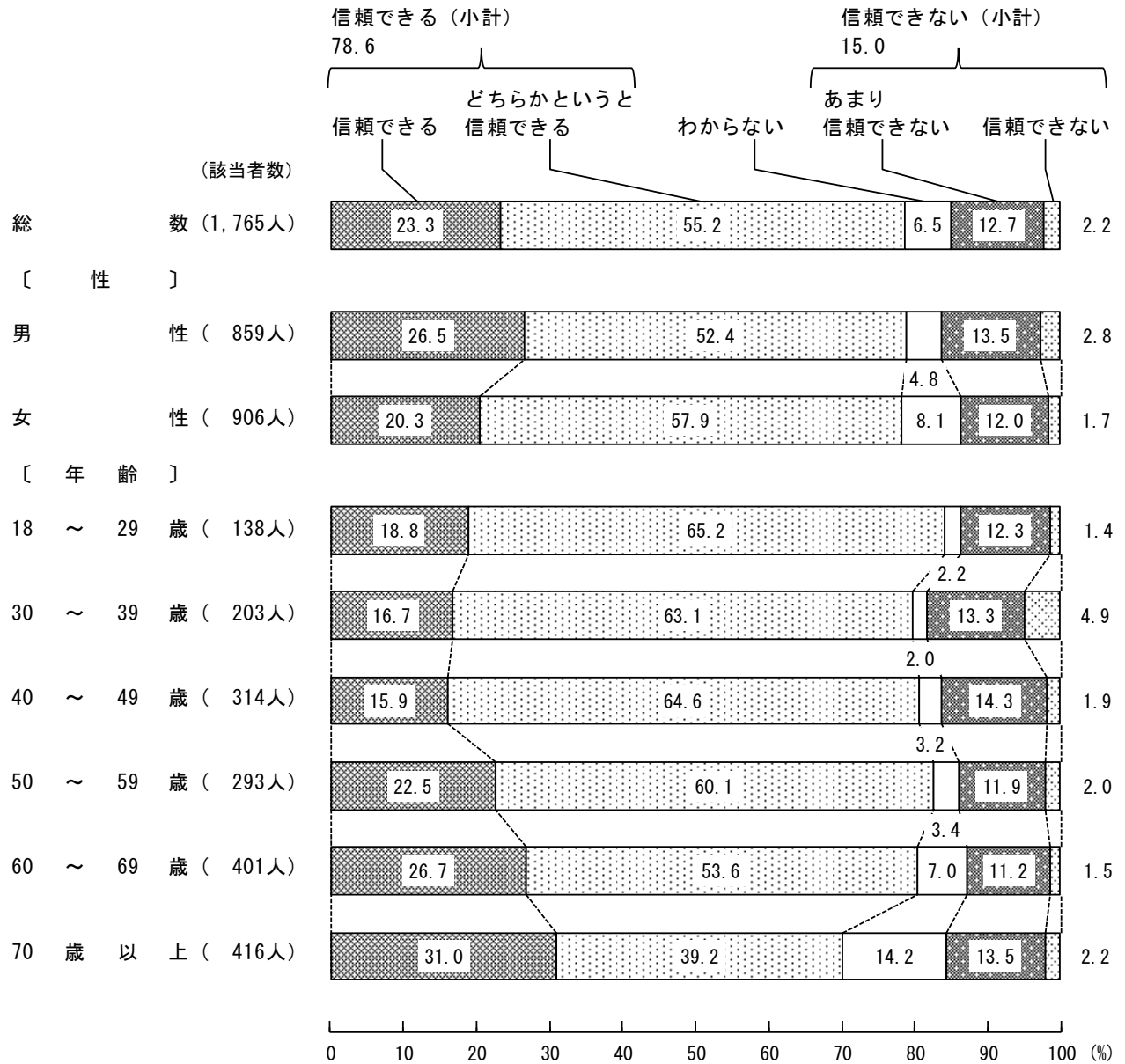
信頼できない (小計)

- ・あまり信頼できない
- ・信頼できない

15.0%

12.7%

2.2%



2 科学技術に対する意識

(1) 科学技術に関する意見への認識

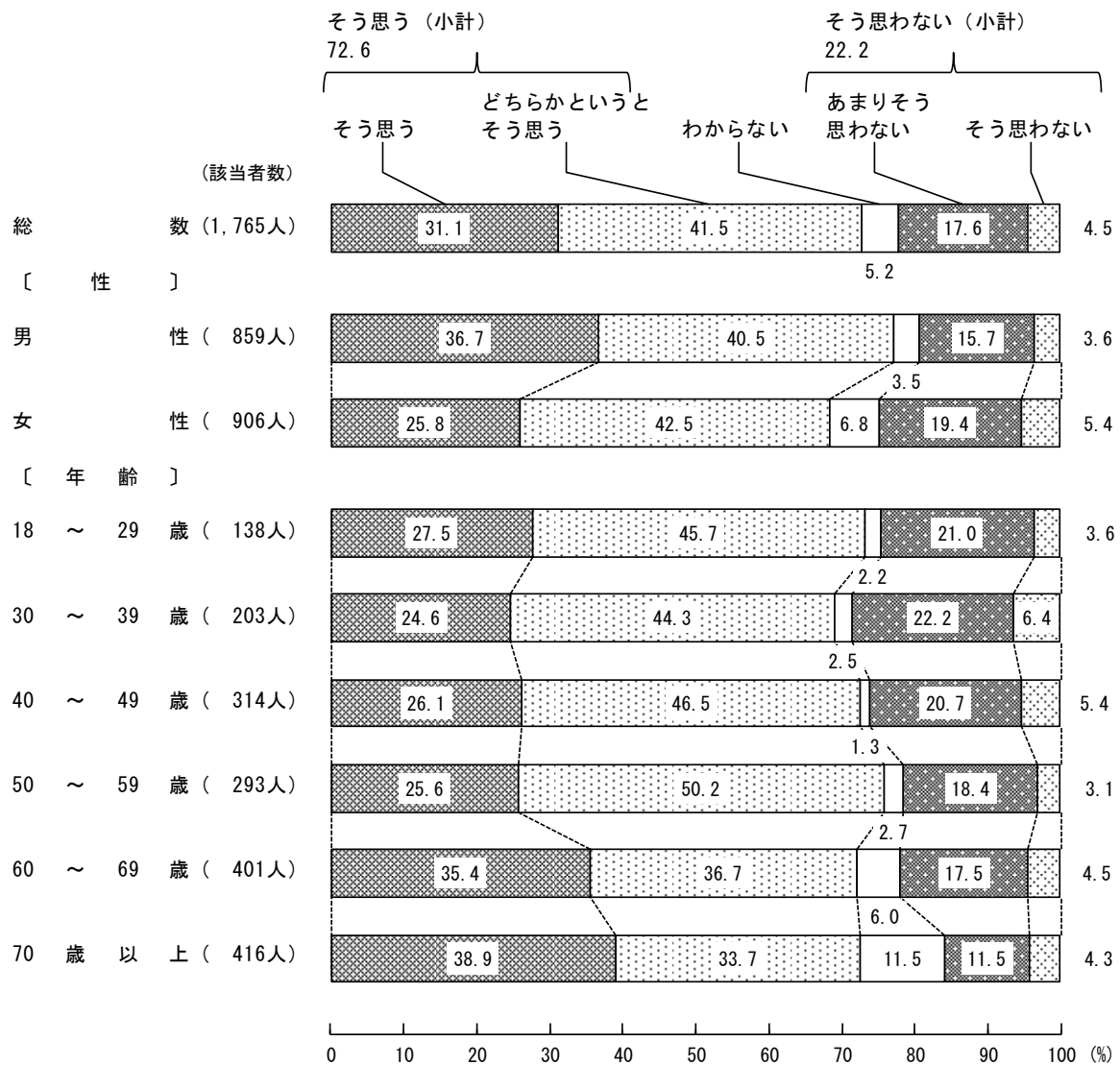
ア 現在の日本の科学技術

問5—① あなたは、科学技術に関する次の意見についてどう思いますか。この中から1つだけお答えください。

① 「現在」の日本の科学技術は、諸外国に比べ進んでいる

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
<u>そう思う (小計)</u>	72.6%	79.5%
・そう思う	31.1%	42.7%
・どちらかというと思う	41.5%	36.8%
<u>そう思わない (小計)</u>	22.2%	16.6%
・あまりそう思わない	17.6%	13.2%
・そう思わない	4.5%	3.4%

※平成 22 年 1 月調査では、「日本の科学技術は、諸外国に比べ進んでいる」として聞いている。



イ 10年後の日本の科学技術

問5—② 「10年後」の日本の科学技術は、諸外国に比べ進んでいる

平成29年9月

そう思う（小計）

- ・そう思う
- ・どちらかというと思う

60.5%

23.8%

36.7%

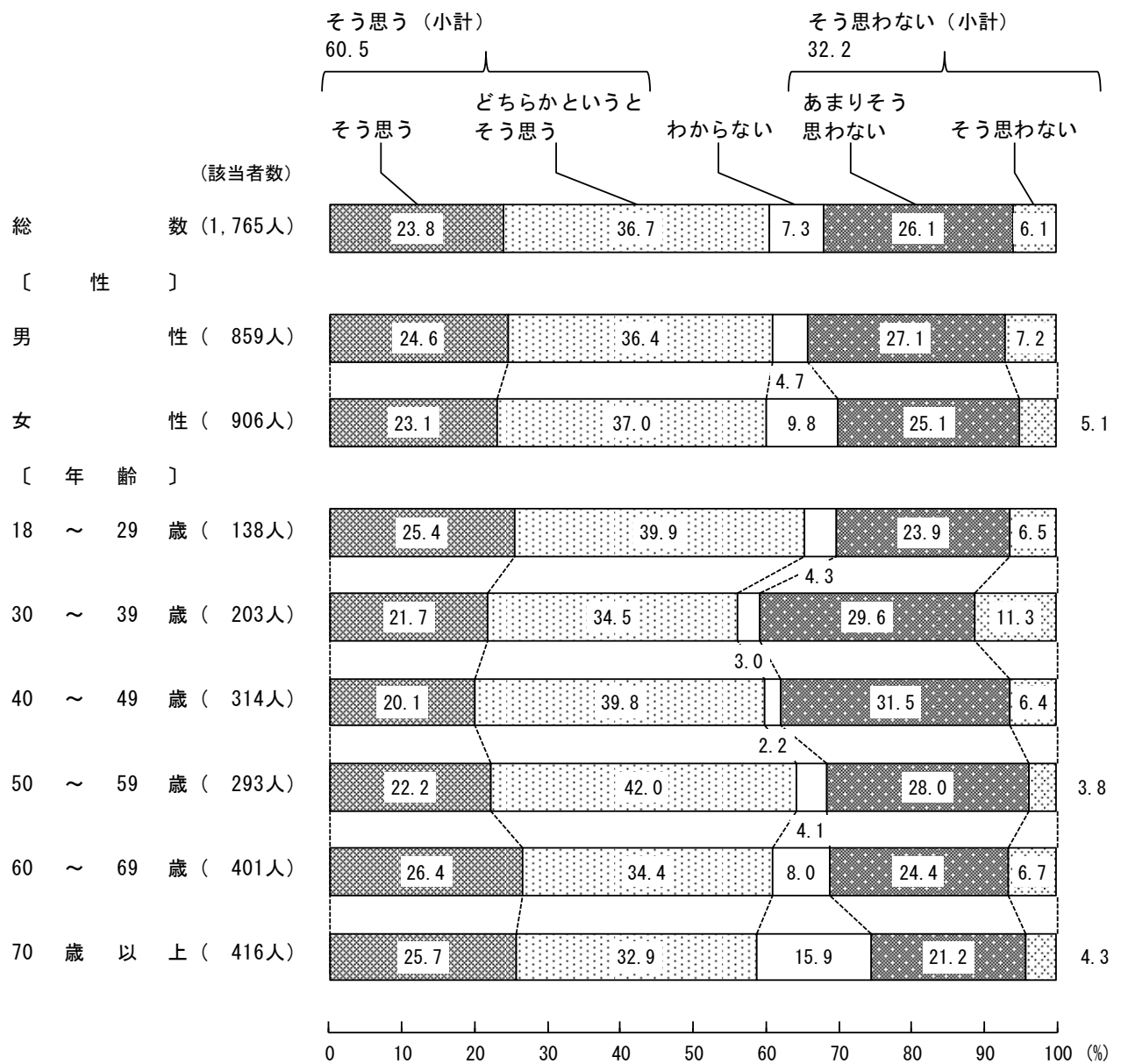
そう思わない（小計）

- ・あまりそう思わない
- ・そう思わない

32.2%

26.1%

6.1%

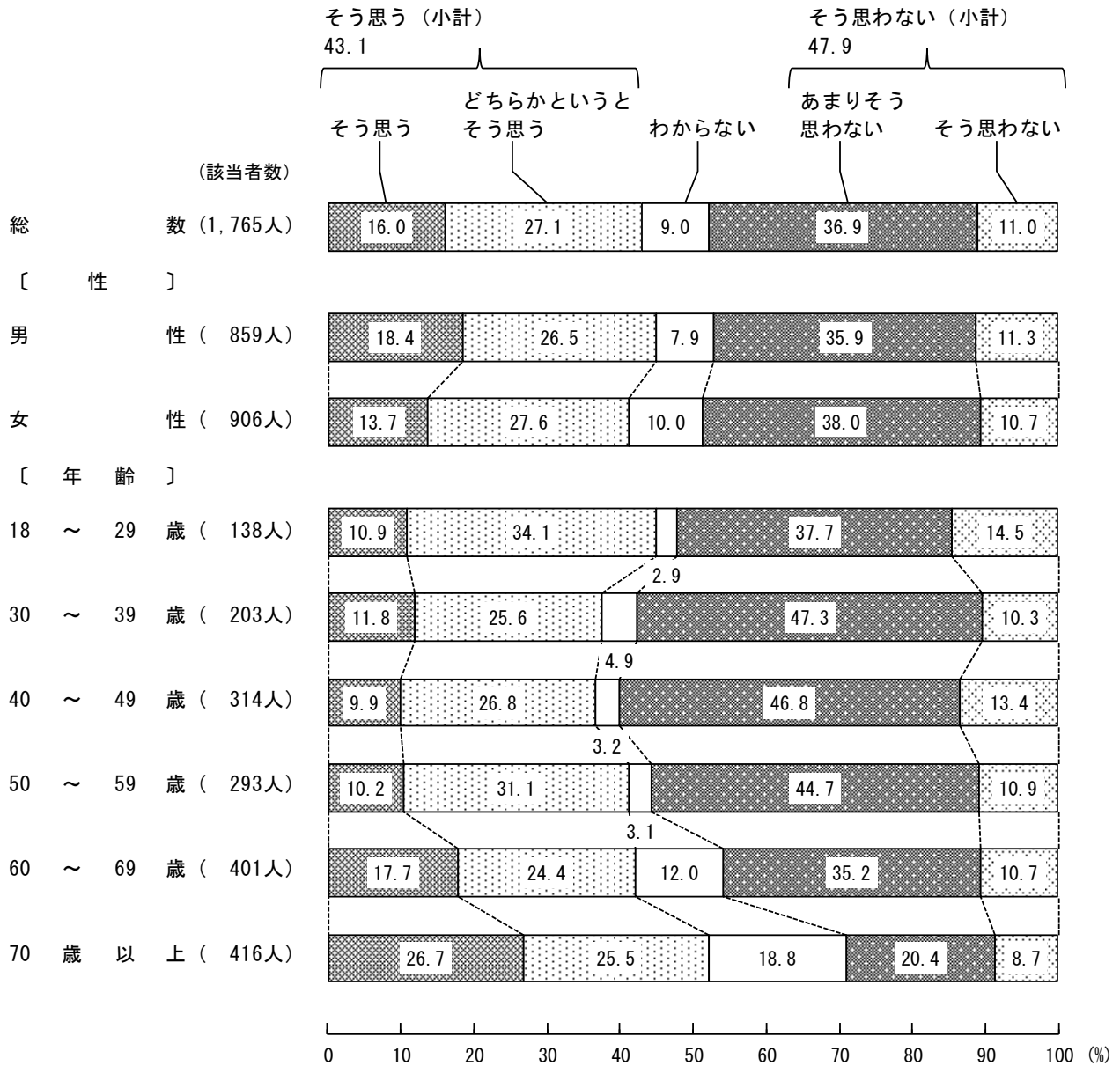


ウ 学校の理科や数学の授業

問5—③ 学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
<u>そう思う (小計)</u>	43.1%	48.2%
・そう思う	16.0%	21.2%
・どちらかというと思う	27.1%	27.0%
<u>そう思わない (小計)</u>	47.9%	42.1%
・あまりそう思わない	36.9%	33.6%
・そう思わない	11.0%	8.5%

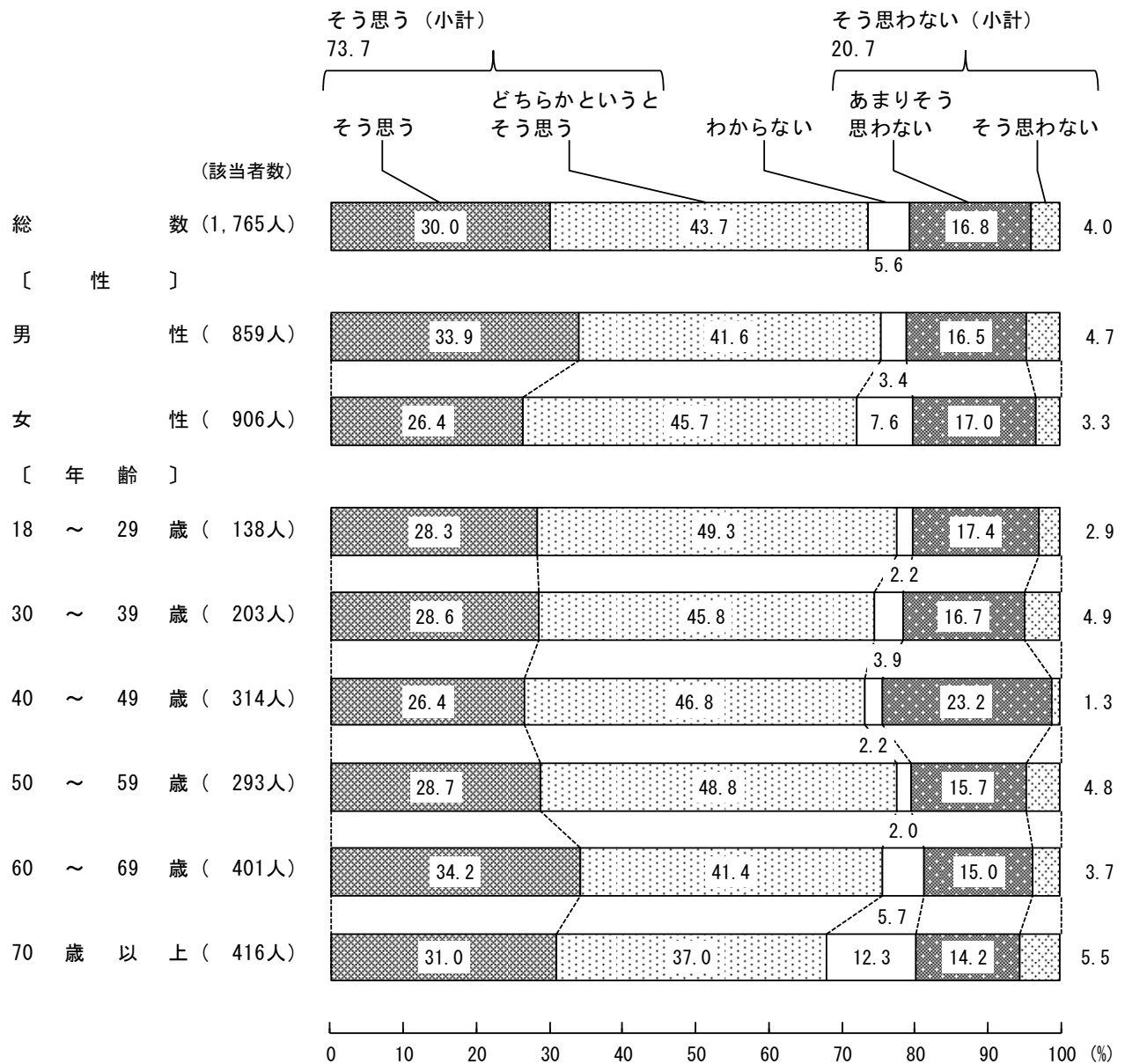
※平成 22 年 1 月調査では、「日本の学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている」として聞いている。



エ 社会の新たな問題と科学技術

問5—④ 資源・エネルギー問題、環境問題、水、食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
<u>そう思う (小計)</u>	73.7%	75.1%
・そう思う	30.0%	36.5%
・どちらかというと思う	43.7%	38.6%
<u>そう思わない (小計)</u>	20.7%	18.9%
・あまりそう思わない	16.8%	14.1%
・そう思わない	4.0%	4.7%

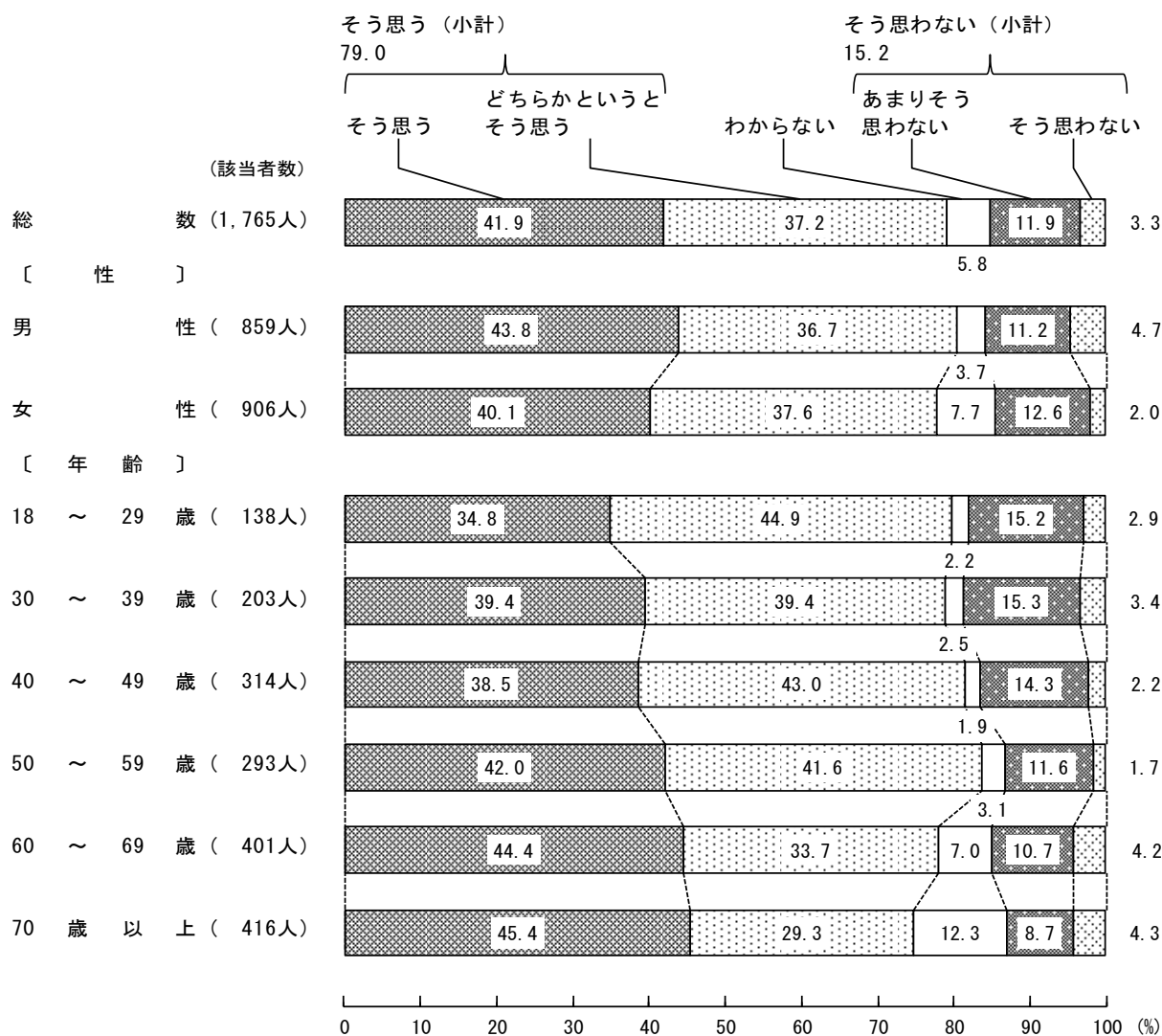


オ 科学技術政策と国民の関わり

問5—⑤ 科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 16 年 2 月
<u>そう思う (小計)</u>	79.0%	71.7%
・そう思う	41.9%	42.1%
・どちらかというと思う	37.2%	29.6%
<u>そう思わない (小計)</u>	15.2%	10.0%
・あまりそう思わない	11.9%	6.9%
・そう思わない	3.3%	3.1%

※平成 16 年 2 月調査では、「今後、科学技術の発展が国民生活に与える影響はますます増えていくと考えられるが、そのような科学技術に関する政策の形成には、研究者や行政官といった専門家だけでなく、国民自身の参画がより一層必要となってくる」として聞いている。



カ 再生医療に関する科学技術イノベーションと治療技術

問5—⑥ 人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する

平成 29 年 9 月

そう思う (小計)

- ・そう思う
- ・どちらかというと思う

90.7%

61.3%

29.3%

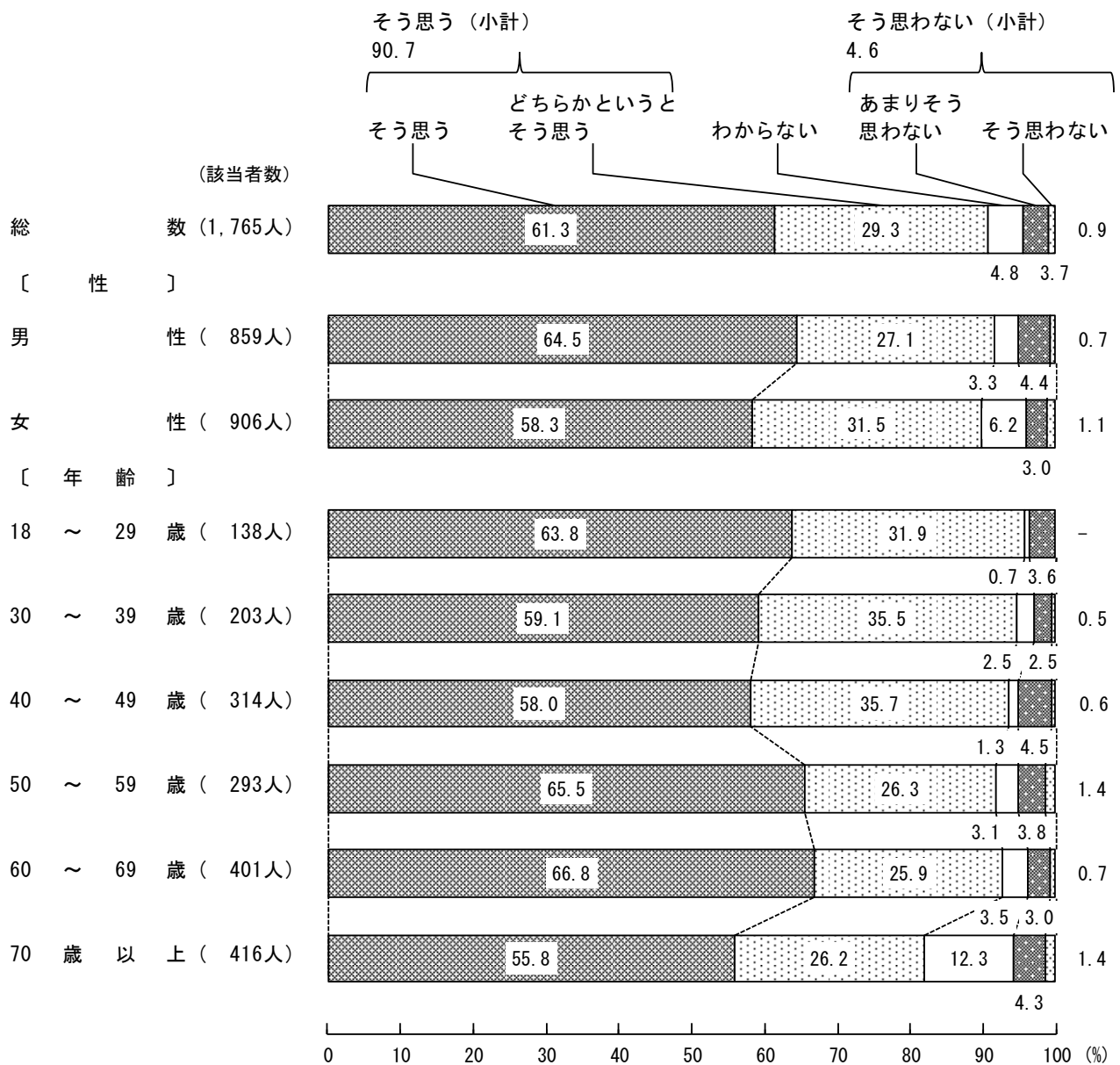
そう思わない (小計)

- ・あまりそう思わない
- ・そう思わない

4.6%

3.7%

0.9%



(2) 科学技術の発展で不安を感じること

問6 あなたは、科学技術の発展に伴い、どのようなことに不安を感じますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答)

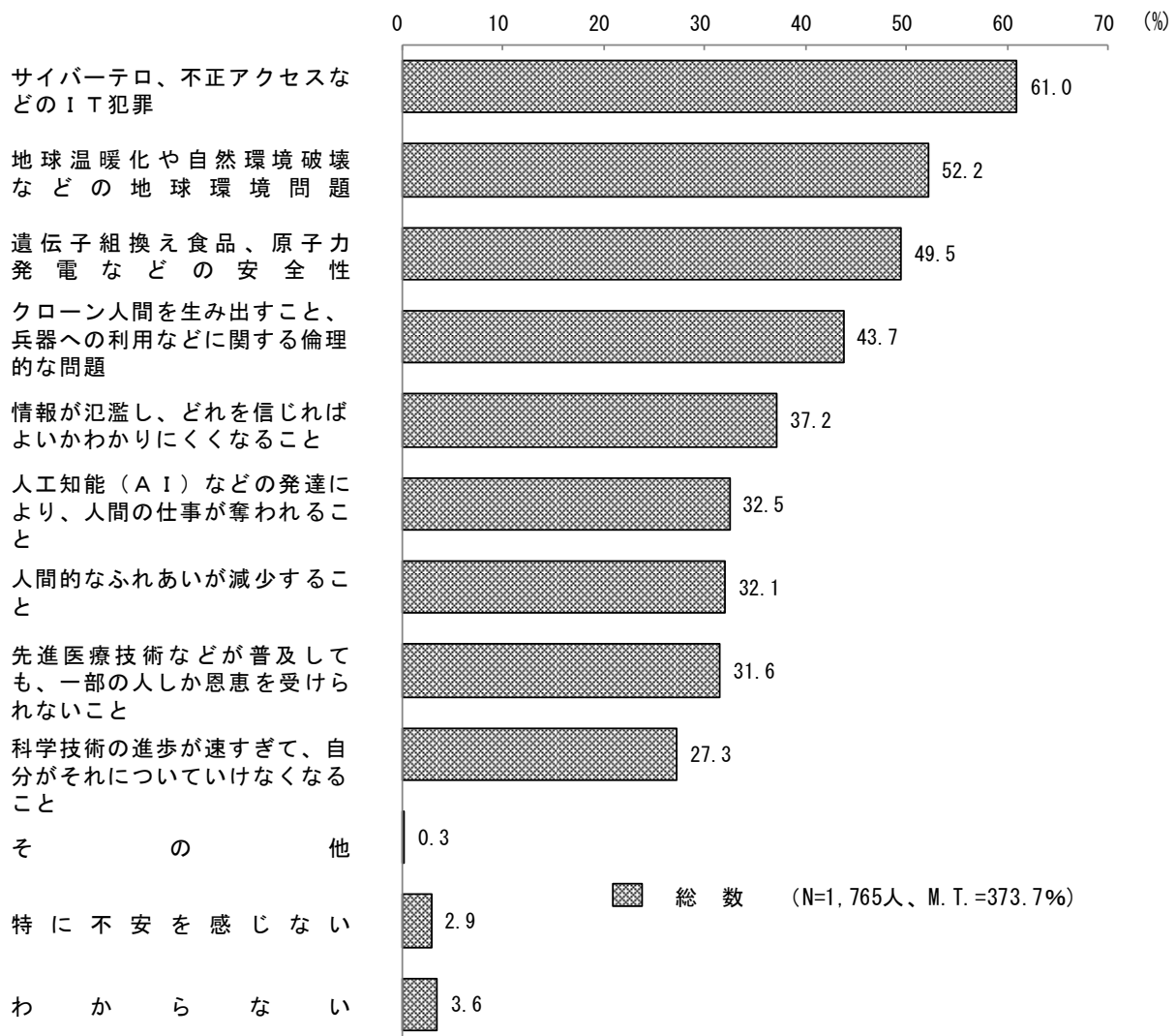
(上位4項目)

平成29年9月 (参考)平成22年1月

・サイバーテロ、不正アクセスなどの ^{アイティ} IT犯罪	61.0%	43.8%
・地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題	52.2%	50.7% ※
・遺伝子組換え食品、原子力発電などの安全性	49.5%	50.2%
・クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的問題	43.7%	42.3%

※平成22年1月調査では、「地球環境問題」となっている。

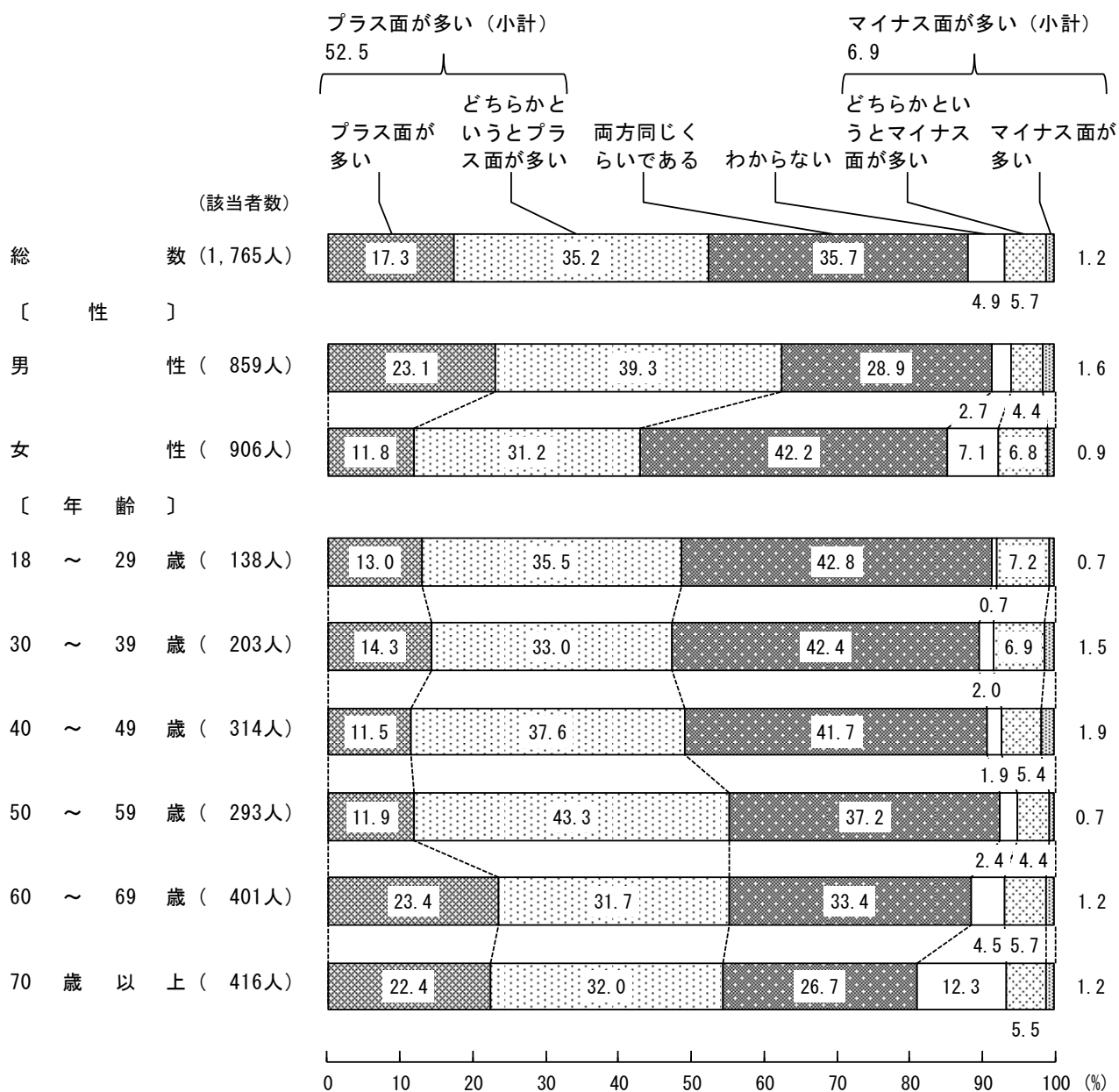
(複数回答)



(3) 科学技術の発展によるプラス面とマイナス面

問7 科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われていますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。この中から1つだけお答えください。

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
<u>プラス面が多い (小計)</u>	52.5%	53.5%
・プラス面が多い	17.3%	18.6%
・どちらかというとプラス面が多い	35.2%	34.9%
<u>両方同じくらいである</u>	35.7%	35.2%
<u>マイナス面が多い (小計)</u>	6.9%	6.5%
・どちらかというとマイナス面が多い	5.7%	5.1%
・マイナス面が多い	1.2%	1.5%



3 科学技術の貢献を期待する分野

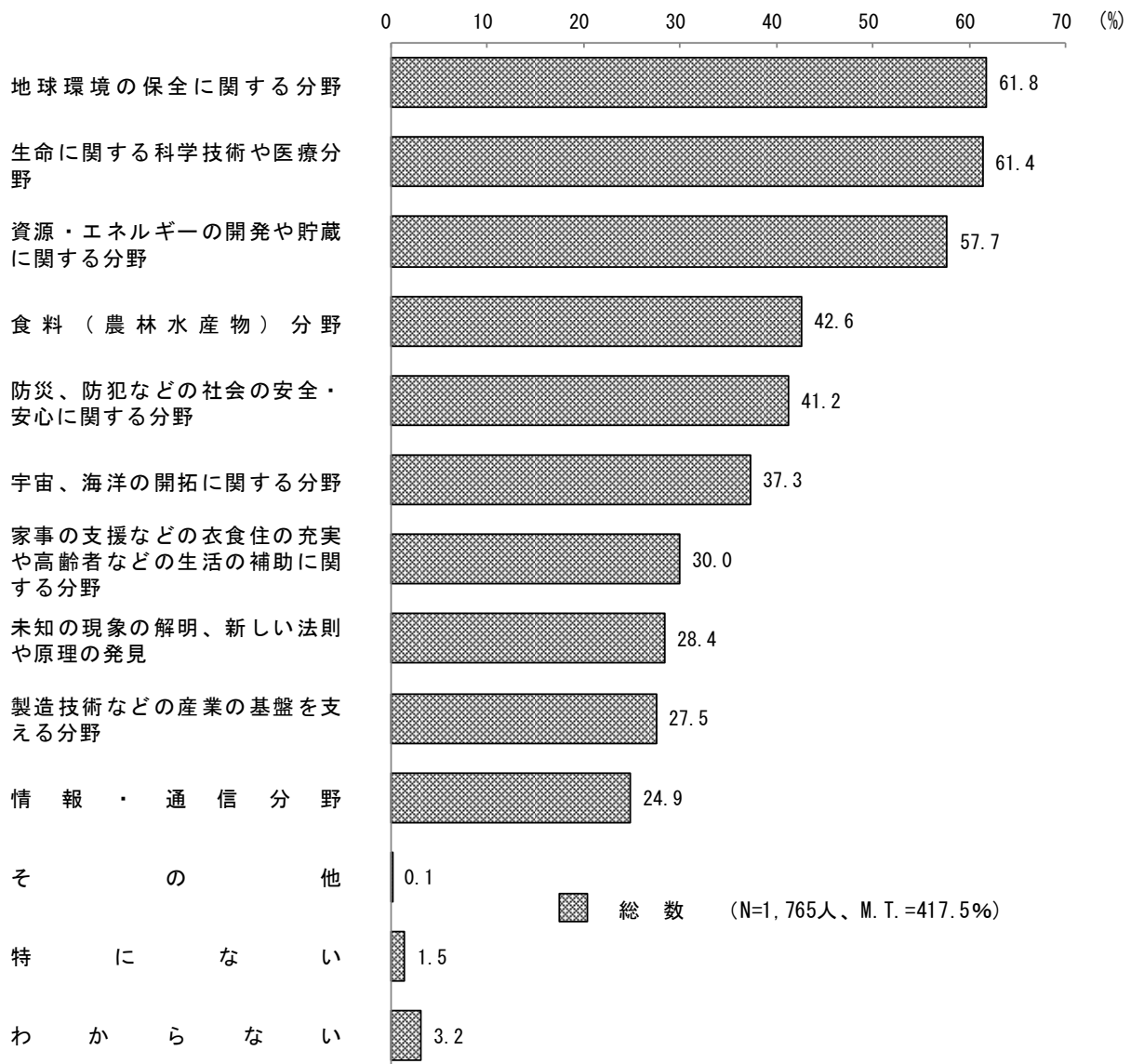
問8 あなたは、科学技術が今後どのような分野に貢献すべきだと思いますか。この中からいくつかもあげてください。(複数回答)

(上位6項目)

	平成 29 年 9 月	(参考)平成 22 年 1 月
・地球環境の保全に関する分野	61.8%	65.2%
・生命に関する科学技術や医療分野	61.4%	75.7% ※
・資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野	57.7%	56.7%
・食料(農林水産物)分野	42.6%	47.7%
・防災・防犯などの社会の安全・安心に関する分野	41.2%	36.7%
・宇宙・海洋の開拓に関する分野	37.3%	36.3%

※平成22年1月調査では、「医療分野」となっている。

(複数回答)



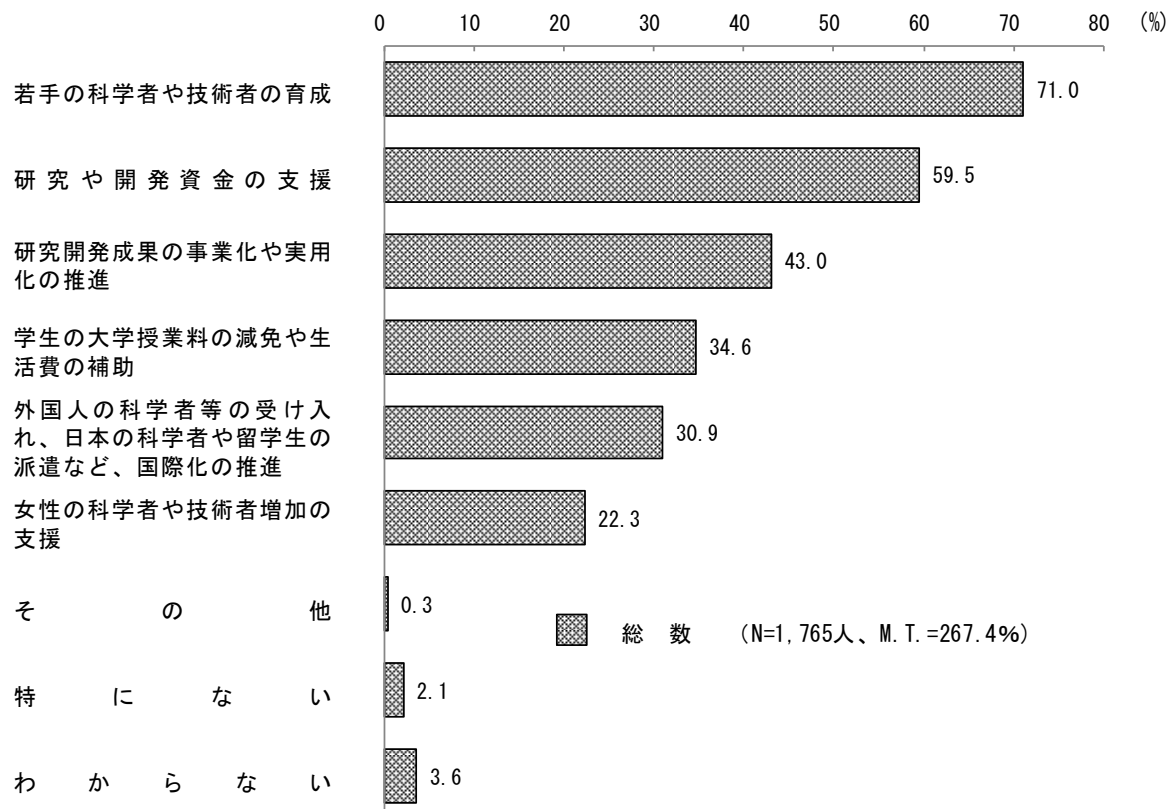
4 科学技術の発展のために必要な政策

問9 あなたは、科学技術の発展に、国の政策として必要なことはどのようなことだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)

	平成 29 年 9 月
・若手の科学者や技術者の育成	71.0%
・研究や開発資金の支援	59.5%
・研究開発成果の事業化や実用化の推進	43.0%
・学生の大学授業料の減免や生活費の補助	34.6%
・外国人の科学者等の受け入れ、日本の科学者や留学生の派遣など、国際化の推進	30.9%

(複数回答)



5 女性科学者の進出に向けた国民の意識

(1) 女性科学者の割合が低い理由

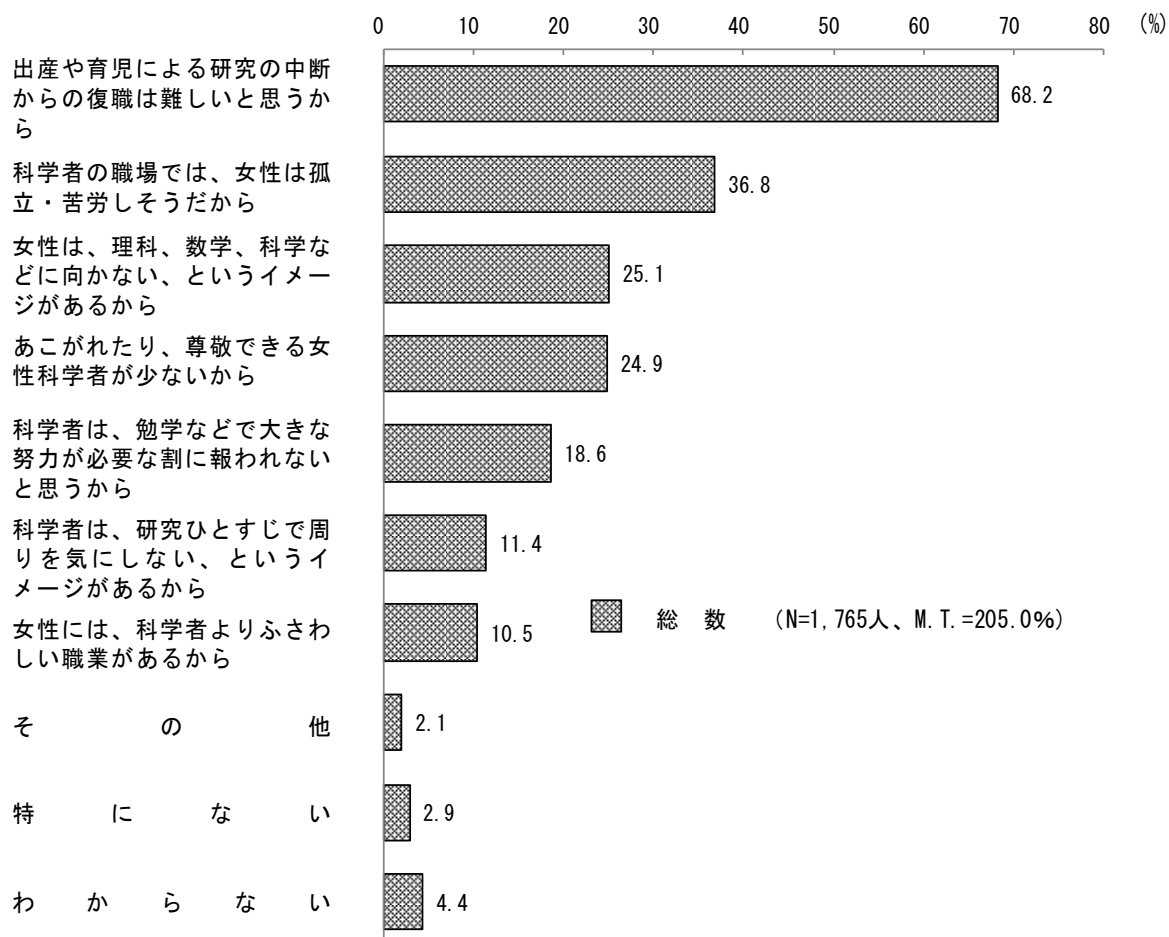
問10 日本は、科学者に占める女性の割合が特に低い水準にあります。その理由は何だと思えますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

平成29年9月

- ・ 出産や育児による研究の中断からの復職は難しいと思うから 68.2%
- ・ 科学者の職場では、女性は孤立・苦勞しそうだから 36.8%
- ・ 女性は、理科、数学、科学などに向かない、というイメージがあるから 25.1%
- ・ あこがれたり、尊敬できる女性科学者が少ないから 24.9%

(複数回答)



(2) 女性科学者を増やすために力をいれること

問 1 1 日本の科学者や技術者に占める女性の割合を増やすために、今後、国はどのようなことに力を入れて行くべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。
(複数回答)

(上位 4 項目)

平成 29 年 9 月

- ・ 子育てや介護中であっても研究が続けられるよう支援する 69.8%
- ・ 子育てや介護などでいったん辞めた科学者や技術者の再就職を支援する 59.8%
- ・ 従来、女性が少なかった分野（工学など）への女性の進出を支援する 43.5%
- ・ 大学や研究開発機関などの教授や管理職への女性の登用を支援する 40.8%

(複数回答)

